





# 1 子育てを振り返ってみましょう



- ねらい**
- 子どもが生まれてからこれまでの子育てを振り返りながら子どもの成長を見つめ直す。
  - これからの子育てについて考え、親として心掛けるべきことに気づく。
- 事前準備**
- ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす）
  - 筆記用具 ●ストップウォッチ（時計）

展開	時間(分)	ファシリテーターのこぼ	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「子育てを振り返ってみましょう」です。これから皆さん一緒に、これまでの子育てについて振り返りながら、子どもの成長についていろいろなことを話し合ってみましょう。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心掛ける。
アイスブレイク (グループ分け)	10	<p>それでは、まずアイスブレイクをします。皆さんその場に立ってください。1月から順番に誕生日順に並んでください。1分間で並んでみましょう（パースデーライン）。（並び終わったら）自分の名前と誕生日を順番に言ってください。</p> <p>次にグループを作ります。前から5人ずつのグループに分かれてください。グループができたら机を囲んで話し合いができるように準備をしてください。（参加者が移動し、グループで話し合う形になるまで待つ）準備できたところは、グループ内で自己紹介（自分の名前、子どもの名前と学年か年齢、子どものことで最近うれしかったこと、など）をしてください。自己紹介の時間は一人1分以内でお願いします。では、始めてください。</p>	<p>○アイスブレイクの説明は必要に応じて簡単に行う。</p> <p>○会場の広さによって、1列になったり輪になったりする。</p> <p>○誕生日の人がいたときには、全員で拍手をしたりお祝いの歌を歌ってもよい。</p> <p>○参加者全体の人数によって、グループごとの人数は変えてもよい。（3人、4人も可）</p> <p>○グループごとの移動が素早くできるように、ファシリテーターが手伝うとよい。</p>
役割分担	2	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。決まったところは、手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名をするのが主な役割であることを伝える。
活動1 ●ワーク1 書き込み	5	それではワークシートのワーク1を見てください。4つのイラストを見て、この頃の子どもの印象的な思い出を書いてみてください。左から順番に、生まれたばかりのころ、1歳の誕生日の頃、一人でどんどん歩けるようになったころ（2歳くらい）、幼稚園や保育所に通っていたころ（3～5歳）です。うれしかったこと、大変だったこと、驚いたことや、子どもの好きな遊び、おもちゃ、口癖など思い出して書いてみてください。書く時間は4分間です。	<p>○イラストに描かれた子どものころの振り返りを、グループごとに話し合いながら進めるようにする。</p> <p>○時間がある時は、書いたことを発表してもよい。</p>

展開	時間(分)	ファシリテーターのこぼ	展開のポイント
活動2 ★ ●エッセイ1 ●ワーク2・3 書き込み	15	<p>次にエッセイ1「こんなに大きくなりました」を皆さんで読んでみましょう。私が、音読しますので、皆さんはワークシートのエッセイ1をご覧ください。</p> <p>次はワーク2です。子どもの誕生からこれまでの成長を振り返ってみて、思ったよりも大変だったのはどんなことですか。2分間で書いてください。</p> <p>ワーク2が書けた人は、続けてワーク3「『うちの子も成長したな。』とあなたが感じるのはどんな時ですか」について書いてください。こちらも書く時間は2分間です。</p> <p>ワーク2・3に書いたことをグループ内で発表しましょう。発表する時間は一人1分程度でお願いします。お互いの発表を聞いた後は、小学生になるまでに成長した子どもの様子について話し合ってください。</p>	<p>○参加者に音読してもらってもよい。</p> <p>○全員がワーク2・3の記入ができるまで待つ。（どうしても書けない場合は無理はしない）</p> <p>○一人だけが話し過ぎないように注意する。</p> <p>○全員の発表が終わったら、グループ内で話し合いを続けていく。</p>
話し合い			
活動3 ★ ●ワーク4 書き込み	17	<p>次はワーク4です。今、子どものことで気になっていることは何ですか？まず一人ひとり書いてみてください。書く時間は2分間です。</p> <p>全員が書いたら、気になっていることを発表してください。グループの全員が発表した後の時間で、解決策を話し合ったり、教え合ったりしてください。</p>	<p>○自分の子どものこと、子どもに関する社会問題、どちらでもよい。</p> <p>○全員の発表が終わった後で、グループ内の参加者同士で子育て相談してもよい。</p> <p>○解決策について話し合ったり考えたりすることは、これからもこういう機会（PTAや子育て講座）を活かして行うことができる。</p>
話し合い			
まとめ ★ ●ワーク5 ●エッセイ2 (ふりかえり)	10	<p>子どもの成長を振り返ってみて気づいたことや、今日の話し合いをとおしてこれから心がけようと思ったことを書いてみましょう。</p> <p>書き終わった人は、エッセイ2「心の鏡」を読んでください。</p> <p>ワーク5に書いたことを中心に、今日の活動をとおして考えたことや気づいたことをグループ内で発表してください。</p>	<p>○ワーク5はこのプログラム全体のふりかえりになることを参加者に伝える。</p> <p>○エッセイ2は時間があれば、音読する。時間がなければ、後で読んでおいてほしいことを伝える。</p>

**ファシリテーター用 メモ欄**



## 2 一人じゃないよ、仲間がいるよ

ねらい

- それぞれの保護者の話や体験談を聞き、話し合いをしながら、参加者同士が知り合うきっかけにする。
- PTA活動をととした親同士の仲間づくりのよさについて考える。

事前準備

- ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす）
- 筆記用具 ●ストップウォッチ（時計）

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	2	今日のテーマは、「一人じゃないよ、仲間がいるよ」ということで、子育ての仲間作りについて、皆さんで話し合ってみましょう。 ワークシートに書いたり、資料を読んだりしながら、思っていることをどんどん発表し、話し合ってください。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。
アイスブレイク (グループ分け)	8	それでは、まずアイスブレイクをします。 皆さんその場に立ってください。 皆さんが今一番旅行に行きたいところはどこですか？ 同じところか近いところを希望している人同士で集まってみてください。（「旅行に行きたいところ」でグループ作り）  (グループに分かれたら)どこに旅行に行きたい人が集まっているグループかを発表してください。  グループごとに机を囲んで話し合いができるように準備をしてください。準備できたところは、グループ内で自己紹介をしてください。	○どのグループに入ったらいいか迷っている人がいた場合は案内する。  ○人数の多少がある場合は、調整をファシリテーターが行ってもよい。(4人～5人)  ○時間の関係で実施が難しい場合は、最初から5人のグループに分かれてテーブルに着くように伝えておく。
役割分担	2	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。 全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。 司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。 話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。 決まったところは、手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名をするのが主な役割であることを伝える。
活動1 ★ ●ワーク 1 書き込み  発表	18	それではワークシートのワーク1を見てください。 子どものことやあなたのことについて、9つの質問がありますね。 まず皆さん、質問の答えを書いてください。 時間は5分間です。  それでは一人ずつ書いたことを発表してください。 発表する時間は一人1～2分程度でお願いします。 自分が書いたことと同じことが発表された時には、元気よく「あるある!」と言ってください。	○話し合いしながら書いてもいいことを伝える。  ○書きたくないことは無理に書かなくてもいいことを伝える。(個人情報に配慮する)  ○9つ全部を発表すると時間がかかるので、参加者がよく書いているところを選んだり「奇数のところ」を選んだりしてもよい。

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
活動2 ★ ●エピソード ●ワーク 2・3 書き込み  話し合い	15	次にエピソードを皆さんで読んでみましょう。 私が音読しますので、皆さんはワークシートのエピソードをご覧ください。  それではこのエピソードをもとに、ワーク2と3を考えてみましょう。  まず、あなた自身の経験の中で、何かの会に初めて参加した時に言われたことやしてもらったことでうれしかったことは何ですか。 また、エピソードのお母さんに、あなただったらどんな言葉をかけますか？ ワーク2と3の記入欄にそれぞれ書いてください。 時間は3分間です。  ワーク2・3に書いたことをグループ内で発表しましょう。 発表する時間は一人1分程度でお願いします。 お互いの発表を聞きながら気づいたことがあった時は、そのことについて話し合ってください。	○参加者に音読してもらってもよい。(エピソードが長いので段落ずつ分けて読んでもらうとよい。) ○エピソードは実話であることを押さえる。 ○時間に余裕があれば、感想を2～3人に発表してもらうとよい。  ○全員がワーク2・3の記入ができるまで待つ。(どうしても書けない場合は無理はしない)  ○低学年の時に保護者同士が知り合いになれると心強いこと、話しかけられるとうれしいことを伝え合えるように配慮する。  ○一人だけが話し過ぎないように注意する。
活動3 ●ワーク 4 話し合い	10	これまでの皆さんのPTA活動の経験の中で、参加してよかったと思うことは何ですか？ 幼稚園や保育所のころからを振り返ってみて、「よかったな」と思うことがある人はグループの皆さんに発表してください。	○このワークでは書き込みはしないで、すぐに話し合いをするように促す。  ○時間に余裕があるときは書く時間を3分程度とってもらい。  ○役員経験のある人からやってよかったと思うことを発表してもらうとよい。
まとめ ★ (ふりかえり)	5	「ふりかえり」のところに、今日の話し合いをとおして気づいたことや、これから心がけたいことなどを書いてみましょう。	○時間があれば、グループ内で発表するとよい。

### ファシリテーター用 メモ欄



## ねらい

- 子どもの成長には、子どもが自己肯定感を持っていることが大切であることを知る。
- 親自身の自己肯定感を高めることによって子どもの成長を認めることができることを知り、子育てに前向きに取り組むきっかけとする。

## 事前準備

- ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす）
- 筆記用具 ●ストップウォッチ（時計）

展開	時間(分)	ファシリテーターのこぼ	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「自己肯定感」です。「親も子も自分自身を大切に」というサブタイトルが付いているように、まずこれから、親である皆さんの「自己肯定感」を高めていくための活動を行っていきます。それでは、始めていきましょう。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。
アイスブレイク	5	今から「拍手でグループ」というアイスブレイクをします。皆さんその場に立ってください。私が拍手をしますので、拍手の数と同じ人数のグループを作り、その場に座ってください。 (「5人」→「3人」→「8人」→「全員」→「1人」→「2人」の順にグループを作る)  今の2人組みで、着席してください。	○参加者数によって、グループの人数は調整する。  ○最後は2人組みにする。
活動1 ★ ●ワーク1 ほめほめじゃんけん	5	それでは、ワーク1の「ほめほめじゃんけん」を始めます。2人でじゃんけんをして、負けた人は勝った人をほめてください。いいところを見つけて、「ほめ言葉」を1つプレゼントしてください。そして、またじゃんけんをして、同じように繰り返します。私が「やめて下さい。」と言うまで、続けてください。時間は3分間くらいです。では、始めてください。(時間をみて) やめてください。  次に、このあとの活動を一緒に行っていくグループ分けをします。今2人組みになっていますので、2つのグループが一緒になり4人のグループを作ってください。(4人組になり、机を囲んで話し合いのできるかたちを作る。)	○一人が5回くらいは「ほめ言葉」のプレゼントをもらえるように時間を設ける。  ○初対面の人同士の場合でも、必ず何かほめることを見つけて言ってあげるようにする。  ○ほめ言葉の例を紹介してよい。 「笑顔がいいですね。」 「シャツの色が似合ってますね。」  ○話し合いのグループ作りが素早くすすむように配慮する。
グループ分け			
役割分担 (自己紹介)	4	全体の進行は私がしますが、グループ内の司会者を一人決めてください。司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話ができるように進めてもらいたいと思います。司会者が決まったところは簡単に自己紹介をしてください。全員の自己紹介が終わったところは、司会者が手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名するのが主な役割であることを伝える。

展開	時間(分)	ファシリテーターのこぼ	展開のポイント
活動2 ●ワーク1 書き込み	20	それでは、ワーク1を続けます。まず、記入欄の2の( )に皆さんの名前を書いてください。ここに書く名前は、自分が呼んでほしい名前(ニックネーム)です。今日は、この名前呼び合ってください。  名前を書いたら、「ほめほめじゃんけん」でほめられてうれしかったことを書いてください。  次に記入欄3・4を見てください。ここでは3に、「ほめほめじゃんけん」でほめられたこと以外に「自分の長所」「好きなところ」「得意なこと」などを、そして4に、皆さんが今、頑張っていることを書いてください。書く時間は、2つ合わせて3分間です。  それでは発表をしましょう。自分が呼んでほしい名前から今頑張っていることまでを、グループの皆さんに発表してください。発表する時間は一人1分程度でお願いします。	○時間は設定せず、全員がほめ書き終わるまで待つ。  ○頑張っていることは、家庭のこと、仕事のこと、子育てのこと、地域活動やボランティアなどのどれでもよいことを伝える。  ○「頑張っていること」を全員が1つは書くように時間をとる。(どうしても書けない場合は無理はしない)  ○一人だけが話し過ぎないように注意する。
発表			
活動3 ★ ●エッセイ ●ワーク2・3 書き込み	20	では、次にワーク2をやってみましょう。子どもとの最近の生活を振り返ってみてください。子どもが、今頑張っていることと、最近子どもをほめたことを書いてください。書く時間は3分間です。ワーク2で書いたことをグループ内で発表してください。発表する時間は一人1分程度でお願いします。  次はワーク3です。子どものことで、今気になっていることは何ですか。心配していること、励ましたいと思っていることを出し合い、親としてどんな言葉で励ましたいかを考えて話し合ってください。  最後にエッセイ「自分を大切に思う気持ち」を皆さんで読んでみましょう。私が音読しますので、皆さんはワークシートのエッセイをご覧ください。(音読後) 例( 子どもと親の自己肯定感について書かれたエッセイです。このエッセイにあるように、子どもが自己肯定感を持つために、親が子どもを認めることは大切なことですね )	○全員の記入ができるまで待つ。(どうしても書けない場合は無理はしない)  ○グループ内で子どもの最近の様子や成長について話し合う。個人的なことで、話しにくいことは無理に言わなくてもいいことと、個人情報の扱いに配慮することを使う。  ○参加者に音読してもらってもよい。  ○時間があれば、左の例を参考にエッセイの感想を話すとよい。
話し合い			
まとめ ★ (ふりかえり)	5	「ふりかえり」のところに、今日の話し合いをとおして気づいたことや、これから心がけたいことなどを書いてみましょう。	○時間があれば、グループ内で発表するとよい。

## ファシリテーター用 メモ欄





## ねらい

●普段何気なく行っている子どもへの言葉掛けを振り返り、子どもの愛着形成を促進する親子の日常的な会話の大切さについて考える。

## 事前準備

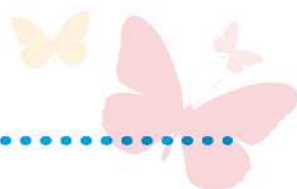
●ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす）  
●会場案内（あらかじめ4～5人のグループに分かれて着席）  
●筆記用具 ●ストップウォッチ（時計） ●グループ数分の白紙（B4かA3）

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「親からの言葉掛け」です。これから皆さん一緒に、これまでの子育ての中での子どもへの言葉かけや親子の会話についてについて振り返りながら、話し合ってみましょう。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。
自己紹介	6	グループごとに、自己紹介をしてください。あなたの名前、子どもの名前(学年、クラスなど)、今楽しみにしていることを話してください。	○参加者と子どもの名前(学年、クラス)のほかにも、もう一つ紹介してもらおう。(誰でもすぐに話せることがよい) 例:好きな食べ物、苦手な食べ物、趣味、子どものころに好きだった遊び・アニメなど
アイスブレイク		次にアイスブレイクをします。「あ」で始まる2文字の言葉、たとえば「あき(秋)」「あさ(朝)」をグループ内で出し合ってみてください。 机の上に紙がありますので、そこに書いてください。全員でいっせいに書いてもよいし、書く人を決めてもよいです。時間は30秒間です。用意はいいですか?(30秒間計る)	○各グループの数を聞き、一番多かったグループは言葉を発表する。(時間に余裕があるときは、全てのグループに発表してもらおう)
役割分担	2	はい、30秒経ちました。では、グループでいくつ言葉が出てきたか発表してもらいましょう。	○一番多かったグループに全員で拍手を贈る。
活動1 ★ ●エピソード1  ●ワーク1 書き込み	4	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。 司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。 決まったところは、手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名をするのが主な役割であることを伝える。
活動1 ★ ●エピソード1  ●ワーク1 書き込み	4	それではワークシートのエピソード1を見てください。これは小学生の子どものお母さんの体験談です。まず皆さん、それぞれで黙読してください。  エピソード1を読み終わったら、ワーク1の記入をしてみましょう。 みなさんは、一日のなかで、どんな時に子どもと話していますか? また、今よく話題にすることは何ですか? 2分間で書いてください。	○ファシリテーターが音読してもよい。

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
活動2 ★ ●ワーク2 書き込み  発表	12	次にワーク2の記入をしてください。 ワーク2は、「子どもと話す時間をつくるために工夫していることはありますか?」についてです。 工夫していることがある人はそれを書いてください。特に工夫していることはない人も、これから工夫したいこと、気をつけたいことを書いてください。 書く時間は2分間です。  ワーク1と2に書いたことをグループ内で発表してください。発表する時間は一人1分程度でお願いします。	○発表を聞きながら気がついたことや自分もやってみたいことはメモしておくといふことを伝える。  ○一人だけが話し過ぎないように注意する。
活動3 ●エピソード2 ●ワーク3  書き込み  話し合い	15	次にエピソード2を皆さんで読んでみましょう。 私が音読しますので、皆さんはワークシートのエピソード2をご覧ください。  ワーク3は、このエピソード途中の「A」について親子の会話を考えてみる活動です。 あきおさんがお母さんに話したこと、そして、お母さんがあきおさんに言ったことをそれぞれ考えてみましょう。そして、この親子の会話を書いてください。 時間は2分間です。  それではグループ内で発表してください。 発表する時間は一人1分程度でお願いします。 お母さんの言葉で、「この言い方はいいな。」「この言葉、私も使おう。」と思うものは、メモしておくといいですね。	○エピソード2はエピソード1の続きであることを参加者に伝える。  ○「A」には、親子の会話を参加者が自由に想像して考えることを伝える。  ○あきおさんが怒っている理由よりも、お母さんの言葉や聞き方について話し合うようにする。  ○お母さんの言葉に「どうしたの?」「それで?」「それから?」「大変だったね。」などの言葉が書かれているか確認する。
活動4 ★ ●ワーク4 書き込み  話し合い	15	ワーク4の「NGワード」「Goodワード」のチェック表の記入をしてみましょう。  みなさんのチェックが終わったら、「Goodワード」に気持ちがこもるように大分弁にしてみたらどうなるかを、グループ内で話し合ってください。たくさん「Goodワード」大分弁を見つけてください。	○チェック表の記入は2分程度。ここには時間をかけず、「大分弁では何と言うか?」を話し合うように促す。  ○時間に余裕があれば、「Good」ワードの大分弁の紹介を全体で行うとよい。
まとめ ★ (ふりかえり)	5	「ふりかえり」のところに、今日の話し合いをとおして気づいたことや、これから心がけたいことなどを書いてみましょう。	○時間があれば、グループ内で発表するとよい。

## ファシリテーター用メモ欄





## ねらい

●早寝早起きし、毎朝ご飯を食べるといった基本的な生活習慣作りが、子どもの成長にとって大切であることを再確認する。

## 事前準備

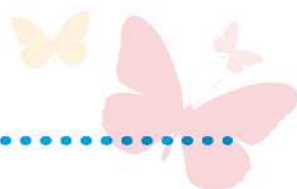
●ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす）  
●会場案内（あらかじめ4～5人のグループに分かれて着席）  
●筆記用具 ●ストップウォッチ（時計）

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「早寝・早起き・朝ごはん」です。これから皆さん一緒に、これからの子どもの毎日の生活で大事な、早寝、早起き、朝ごはんについて考えていきましょう。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。
自己紹介 (アイスブレイク)	5	グループごとに自己紹介をしてください。あなたの名前、子どもの名前(学年、クラスなど)、そして「私の好きなおにぎりの具」「子どもの好きなおにぎりの具」を紹介してください。	○早寝、早起き、朝ごはんについて話しあっていくので、自己紹介にもそれに関連する話題を盛り込む。 ○好きな卵焼きの味付けを紹介するなど良い。
役割分担	2	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。 全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。 司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。 話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。 決まったところは、手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名をするのが主な役割であることを伝える。
活動1 ★ ●エピソード  ●ワーク1 書き込み  発表	10	それではワークシートのエピソードを皆さんで読んでみましょう。私が音読しますので、皆さんはワークシートのほうをご覧ください。  次はワーク1です。 このエピソードを読んで気になることは何ですか。「なつみさんのこと」と、「お母さん・お父さんのこと」について、それぞれ書いてください。 時間は3分間です。  次に、ワーク1に書いたことをグループ内で発表しましょう。発表する時間は一人1分程度でお願いします。お互いの発表を聞きながら気づいたことがあったら、どんどん出し合ってください。	○参加者に音読してもらってもよい。 ○ここでは子どもの生活習慣作りに向けた親の配慮について、発表があるとよい。 ○一人だけが話し過ぎないように注意する。

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
活動2 ●ワーク2 書き込み  話し合い	20	次に、ワーク2を考えてみましょう。 あなたがなつみさんの親だったとしたら、これからなつみさんの生活をどうしたいですか。 項目を「時間のこと」「朝ごはんのこと」の2つに分けています。 考えたことをそれぞれの記入欄に書いてください。書く時間は3分間です。  それでは一人ずつ発表してください。発表する時間は一人1分程度でお願いします。全員が発表した後、これからのなつみさんの生活をより良くしていくために親としてすべきことは何かを話し合ってください。	○時間と朝ごはん以外のことで気になること(運動、遊び、テレビ視聴など)が日常生活全般から出されたら、その項目についての発表してもらってもよい。(時間があれば、ほかのグループにも広げる) ○参加者によっては、生活リズムがエピソード事例が異なる場合もある。その場合はエピソードをもとに想像して改善案を考えてもらう。
活動3 ★ ●コラム ●資料 話し合い	7	コラムと資料(グラフ1～4)を見てください。 コラムを読み、関連する調査結果のグラフを見ながら、「早寝・早起き・朝ごはん」について気づいたことを出し合しましょう。  ・グラフ1「小児期に必要な標準睡眠時間」 ・グラフ2「朝食を食べる習慣の有無による体温上昇の違い」 ・グラフ3「朝食の摂取状況と学力調査の平均正答率との関係」 ・グラフ4「小学校6年生の平日の就寝時間」	○朝ごはんの大切さを知ってもらう。 ○時間があれば、グループ内で発表するとよい。
活動4 ★ ●ワーク3 書き込み 話し合い まとめ (ふりかえり)	15	次はワーク3です。 今、あなたが自分の子どもの「早寝・早起き・朝ごはん」のことで取り組みたいことは何ですか。これからの子育てのヒントにもなっていくことだと思うので、グループの中でのいろんなアイデアを出し合ってみましょう。  今日の話し合いで知ったことやあなたが親として気をつけたいと思ったことを、これからの生活で役立ててください。	○全国的な調査結果から考えて子どもの生活習慣作りへの親としての配慮や工夫を話してもらうようにする。 ○話し合いの時間が十分でなかった時は、これからもPTAなどを利用し、親同士の話し合いや研修の機会を持つことができることを伝える。

## ファシリテーター用 メモ欄





## ねらい

- 子どもが遊びの時間を自分でコントロールし、宿題をする習慣を身につけていくように、親としてどのように関わっていくかを考える。

## 事前準備

- ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす）
- 会場案内（あらかじめ4～5人のグループに分かれて着席）
- 筆記用具 ●ストップウォッチ（時計） ●グループ数分の白紙（B4かA3）

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「家庭での学習習慣づくり」です。子どもが小学生になり、これから保護者の皆さんにとって、子どもの生活の中に学習習慣を作っていくことが大切になってきます。今日はこのことについて話し合ってみましょう。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。
アイスブレイク (グループ分け)	8	グループごと自己紹介をしてください。 あなたの名前、子どもの名前(学年、クラスなど)、今楽しみにしていることを話してください。  次にアイスブレイクをします。 「□+2」というアイスブレイクです。漢字の部首の「くち」「くちへん」「くにがまえ」の□に2画加えてできる漢字を書いてください。たとえば「兄」「司」などがありますね。 机の上に紙がありますので、そこに書いてください。全員でいっせいに書いてもよいし、書く人を決めてもよいです。 時間は1分間です。用意はいいですか？ (1分間計る)  はい、1分経ちました。では、グループでいくつ漢字ができたか発表してもらいましょう。 (正解例:田、由、目、古、申、兄、四、右、石、白、甲、台、占、加、旧、旦、史、只、囚、司、号、可、叶、叫、句、叩、叱、召など)	○参加者と子どもの名前(学年、クラス)のほかにも、もう一つ紹介してもらおう(誰でもすぐに話せることがよい)。 例:好きな食べ物、苦手な食べ物、趣味、子どものころに好きだった遊び・アニメなど  ○黒板やホワイトボードがあれば、実際に書いて示すとよい。  ○各グループの数を聞き、一番多かったグループから発表する。(他のグループでできた漢字も紹介する)  ○一番多かったグループに全員で拍手を贈る。
役割分担	2	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。 全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。 司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。 話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。 決まったところは、手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名をするのが主な役割であることを伝える。
活動1 ●エピソード	2	それではまず、エピソードを読みましょう。 私が音読しますので、皆さんはワークシートのエピソードをご覧ください。	○エピソードは実話であることを押さえる。

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
●ワーク1 書き込み  発表	9	それではワーク1のところに、感想や気になったことを書いてみましょう。 書く時間を2分間とりますので、それぞれ書いた後、グループ内で発表してください。 発表する時間は一人1分程度をお願いします。	○学校での学習指導への希望を話すのではなく、家庭での学習習慣づくりの視点で感想を出し合うようにする。  ○一人だけが話し過ぎないように注意する。
活動2 ★ ●ワーク2 書き込み  話し合い	15	次はワーク2です。 エピソードのお母さんになったつもりで、それぞれ書いてください。「対応(すること)」には、はるこさんに対して、あなただったらどんなことをするかや、どんな風に接するかを、「言葉(言うこと)」には、はるこさんに親として言いたいことや話したいことを書いてください。 書く時間は2分間です。  ワーク2に書いたことをグループ内で発表しましょう。 発表する時間は一人1分程度をお願いします。 お互いの発表を聞いた後は、はるこさんが家庭学習を進んでするようになるにはどうしたらいいかについて話し合ってください。	○全員がワーク2の記入ができるまで待つ。(どうしても書けない場合は無理はしない)  ○記入欄は設けていないので、話し合ったことは、ワーク2にメモしておくことよことを伝える。
活動3 ★ ●資料  書き込み  話し合い	18	資料「小学校生活を楽しくするために」を読みましょう。 私が音読しますので、皆さんはワークシートをご覧ください。  では、「家庭学習のチェックリスト」をしてみましょう。 子ども編と親編がありますが、どちらも記入してください。 記入した後で、皆さんの子どもの家庭学習のことで、グループの人に聞いてみたいことを出し合って、その解決策をグループで相談し合ってください。	○参加者に音読してもらってもよい。  ○チェックリストの記入後、話し合いが進まない場合は、司会者に「家庭学習のことで気になること、聞いてみたいことを出し合います。」と言ってもらうとよい。
まとめ (ふりかえり)	5	「ふりかえり」のところに、今日の話し合いをとおして気づいたことや、これから心がけたいことなどを書いてみましょう。	○時間があれば、グループ内で発表するとよい。

## ファシリテーター用 メモ欄



# 7 子どもの遊びについて考えてみましょう

- ねらい** ●ゲームをする子どもが男女とも増えている現代の状況を踏まえ、子どもの遊びや自由な時間の過ごし方を考える。
- 事前準備** ●ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす） ●会場案内（あらかじめ4～5人のグループに分かれて着席） ●筆記用具 ●ストップウォッチ（時計）

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
<b>導入</b> (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「子どもの遊びについて考えてみましょう」です。 これから皆さん一緒に、子どもの遊びとして望ましいもの、子どもにとってのよい遊びについて、いろいろなことを話し合ってみましょう。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。
<b>自己紹介</b> (アイスブレイク)	8	グループごとに自己紹介をしてください。 あなたの名前、子どもの名前(学年、クラスなど)、そしてあなたが小学生のころ流行っていた遊びについて話してください。	○子どもの遊びについて話し合う活動なので、自己紹介にも「遊び」を話題にする内容を盛り込む。 ○自己紹介で子どもの頃の遊びを話す活動をアイスブレイクにするので、時間を多めに取る。
<b>役割分担</b>	2	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。 全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。 司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。 話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。 決まったところは、手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名するのが主な役割であることを伝える。
<b>活動1</b> ★ ●ワーク1 書き込み  話し合い	18	それではワークシートのワーク1を見てください。 ワーク1では、子どもの遊びについて、あなた自身が子どもの頃とあなたの子どもの頃の違いを振り返ってみたいと思います。 まず、記入欄にあなたのこと、あなたの子どものことをそれぞれ書いてみましょう。書く時間は5分間です。  それでは書いたことをもとに、あなたと子どもの遊びの違いを発表しましょう。 発表することは、好きな遊び、遊ぶ場所、大事なおもちゃ、時間の4つです。 1～2分程度にまとめて発表してください。 全員の発表が終わったところは、皆さんが子どもの頃と今の子どもと、どんな違いがあるかについて話し合ってください。	○自分のことについては、低学年に限らず、小学校時代全般を思い出して書くようにする。 ○5分経ったら知らせる。 ○保護者によっては、テレビゲームやテレビ・ビデオ視聴が遊びの主流になっていることもある。集団での遊びや創造的な遊び、体を動かす遊びについて話題となるように配慮する。 ○保護者から見て、今の子どもに足りていない遊びやさせたい遊びについて話し合う。

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
<b>活動2</b> ●資料 話し合い	15	資料「ゲームをする子どもが増加」を見て、気がついたことを話し合ってください。 司会者の人は、まず一人ずつに気づいたことを言ってもらってください。 そして全員発表した後に、親として気をつけなくてはならないことは何かについて、話し合ってください。	○ゲームをする子どもが増え、以前は少なかった高校生の女子のゲーム使用者が増えていることを知ってもらおう。 ○ゲームを愛好している参加者もいた場合は、小学生の遊びとしてのゲームについての長所・短所を話してもらおうのもよい。
<b>活動3</b> ★ ●エッセイ ●ワーク2 書き込み  発表	12	次にエッセイを皆さんで読んでみましょう。 私が音読しますので、皆さんはワークシートのエッセイをご覧ください。  資料を見るとゲームが子どもの遊びのなかで、かなり大きな位置を占めていることが分かりますね。 そんな現代ですが、これからあなたが子どもと一緒にしたい遊びは何ですか。 記入欄に書いてください。 書く時間は2分間です。  それでは、グループ内で発表してください。 発表する時間は一人1分程度でお願いします。 全員の発表が終わったら、時間いっぱい話し合ってください。	○参加者に音読してもらってもよい。 ○記入する時間は残りの時間を考えて調整する。 ○「子どもにとって遊びは学習」という記述に気がついていないかを確認する。(気づいてない場合は、さりげなく伝える) ○子どもと一緒にしたい遊びの中には、PTA・子ども会・父親の会の取組で実現可能なものもあることを伝える。(例:キャンプ、登山、基地づくり、たき火、昆虫採集など。)
<b>まとめ</b> ★ (ふりかえり)	4	「ふりかえり」のところに、今日の話し合いをとおして気づいたことや、これから心がけたいことなどを書いてみましょう。	○時間があれば、グループ内で発表するとよい。

**ファシリテーター用 メモ欄**



## ねらい

- いろいろな「生活体験」「自然体験」を子どもが経験するの大切さに気づき、日常生活の中で様々な体験を親子一緒に行きかけとする。

## 事前準備

- ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす）
- 会場案内（あらかじめ4～5人のグループに分かれて着席）
- 筆記用具 ●ストップウォッチ（時計）

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「体験活動のすすめ」です。 子どもが小学生になり、できることがだんだん増えていることでしょう。 今日はこれから皆さん一緒に、子育てするなかでできる、いろいろな体験活動について考えてみましょう。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。
自己紹介 (アイスブレイク)	6	グループごとに自己紹介をしてください。 あなたの名前、子どもの名前(学年、クラスなど)、そしてあなたは山と海のどちらが好きかを理由も添えて話してください。「どちらも好き」「どちらも苦手」という人は、その理由を話してください。	○子どもの体験活動について話しあっていくので、自己紹介にもそれに関連する話題を盛り込む。
役割分担	2	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。 全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。 司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。 話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。 決まったところは、手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名をするのが主な役割であることを伝える。
活動1 ●ワーク1 書き込み  発表	10	それではワークシートのワーク1を見てください。 5つのイラストが書いてありますね。子どもの気持ちを想像して、吹き出しの中に子どもの言葉を書いてみてください。 書く時間は2分間です。  イラストの吹き出しに書いた言葉を、一人ずつ発表してみましょう。 発表する時間は一人1～2分程度でお願いします。	○イラストの場面は次のとおり。「海水浴」「登山」「家族と稲刈り」「お父さんと犬の散歩」「お母さんと米とぎ」  ○肯定的な言葉、否定的な言葉、どちらがあってもよいことを押さえる。(まず経験することが大切であることを伝える) ○体験とおとした発見や驚きが子どもにあることを確認する。 ○アイスブレイク的な要素も含んだ活動であるので、子どもらしい言葉をたくさん発表してもらおうとよい。

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
活動2 ●ワーク2 書き込み  話し合い	15	次に、ワーク2を考えてみましょう。 ワーク1のイラストにあるような活動をとおして、子どもたちはどんなことを学ぶでしょう。 あなたが気づいたことを記入欄に書いてください。 書く時間は3分間です。  それでは一人ずつ1分程度で発表してください。全員が発表した後、気づいたことや考えたことを話し合ってください。	○このような活動が「自然体験」「生活体験」であることを話し、このような活動全体から子どもが学ぶこと(できるようになる、分かるようになる)を考えるように促す。  ○家庭の事情や環境でやりたくてもできない場合もある。そんな時こそ、PTAや子ども会活動を活かすとよいことも伝える。
活動3 ★ ●エッセイ ●ワーク3 書き込み  ●ワーク4 書き込み  話し合い	20	エッセイを読んで、次のワーク3を考えていきましょう。 私のほうでエッセイを音読しますので、皆さんはワークシートのエッセイをご覧ください。  では、ワーク3の「生活体験」「自然体験」であなたが子どもに経験させたいことを書いてみましょう。 ここでは、子どもが小学生の間にやってみたいことを考えてください。 次に、この中から、今あなたが子どもと一緒にやってみたいことを一つ選んでください。 ワーク4に項目を記入していますので、具体的に詳しくかいてみましょう。  それでは、ワーク3・4に書いたことを一人ずつ1～2分程度で発表し、子どもに経験させたいことについて話し合ってください。	○参加者に音読してもらってもよいし、時間がない場合は、黙読してもらおうもよい。  ○今すぐにはできないことでも、親として希望や将来の計画を描くことは大切なことを伝える。  ○一人だけが話し過ぎないように注意する。
まとめ ★ (ふりかえり)	5	資料も参考にしながら、今日話し合ったことや考えたことを振り返りましょう。 そして、「ふりかえり」のところに、今日の話し合いをとおして気づいたことや、これから心がけたいことなどを書いてみましょう。	○時間があれば、グループ内で発表するとよい。

## ファシリテーター用 メモ欄



# 9 絵本の読み聞かせ、やってみませんか？

— 絵本は心の栄養 —

<b>ねらい</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●読書の大切さに気づき、まずは絵本の読み聞かせを家庭での生活に取り入れるきっかけとする。</li> <li>●絵本の読み聞かせに役立つ本や図書館などの情報を知る。</li> </ul>
<b>事前準備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ワークシートと資料編「図書館についてのお知らせ」(56ページ～60ページ)の印刷(参加者分)</li> <li>●会場設営(1グループ4～5人程度の机とイス) ●会場案内(あらかじめ4～5人のグループに分かれて着席) ●筆記用具 ●ストップウォッチ(時計)</li> </ul>

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「絵本の読み聞かせ、やってみませんか？」です。 もう既に絵本の読み聞かせをしている人もこれから始めようとしている人も、一緒に読み聞かせについて話し合ってみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。</li> <li>○お気に入りの絵本があれば、それを紹介してもよい。</li> </ul>
自己紹介 (アイスブレイク)	6	グループごとに自己紹介をしてください。 あなたの名前、子どもの名前(学年、クラスなど)、そしてあなたが子どものころ好きだった絵本かお話を一つ紹介してください。紙芝居でもよいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○絵本の読み聞かせについて話し合っていくので、自己紹介にもそれに関連する話題を盛り込む。</li> </ul>
役割分担	2	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。 全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。 司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。 話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。 決まったところは、手を挙げて合図してください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名をするのが主な役割であることを伝える。</li> </ul>
活動1 ★ ●エッセイ1  ●ワーク1  書き込み  話し合い	20	<p>それでは、まず、エッセイ1「絵本の読み聞かせのすすめ」を読みましょう。 私が音読しますので、皆さんはワークシートのエッセイ1をご覧ください。</p> <p>それでは早速、絵本の読み聞かせについて情報交換をしましょう。 ワークシートのワーク1を見てください。 質問が6つありますので、それぞれまず記入してください。 書く時間は5分間です。</p> <p>では、グループ内で発表しましょう。 ワーク1に書いたことを一人ずつ全部発表してください。 全員の発表が終わったら、詳しく聞きたいことを聞いたりしてお互いに情報交換をしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参加者に音読してもらってもよい。</li> <li>○まだ家庭で読み聞かせをしていない人は、「これからどんな風にしてみたいか？」を書く。</li> <li>○参加者の中に読み聞かせボランティアをしている人がいたときには、子どもの読書についての情報を紹介してもらってもよい。</li> <li>○一人だけが話し過ぎないように注意する。</li> <li>○よい発表は全体に伝え、共有するとよい。</li> </ul>

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
活動2 ●ワーク2 書き込み 話し合い	20	<p>次に絵本の読み聞かせの良さについて、考えてみましょう。 まず皆さんの考える良さをワーク2の記入欄に書いてください。 書く時間は3分間です。</p> <p>それでは、グループごとに話し合ってみましょう。 まず皆さんが書いたことを一人ずつ1～2分程度発表してください。 全員の発表が終わったら、皆さんの考えを聞きながら気づいたことや、考えたことをグループ内で話し合ってください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○情報交換がなかなか終わらないときは、一旦やめてワーク2に進むように促す。</li> <li>○読み聞かせの良さについての確認が終わったところは情報交換を続けてもよい。</li> </ul>
活動3 ★ ●資料 ●エッセイ2	6	<p>資料として、大分県立図書館が行っている子どもの読書活動を支援する取り組みを紹介しています。</p> <p>県立図書館では、子どもの発達段階に応じた推薦図書をもとめた「ブックリスト」を作成しています。 本選びに迷ったときは、この「ブックリスト」を参考にしたり、直接図書館で相談したりすると良い本との出会いができると思います。</p> <p>読み聞かせは、家にある本や、学校の図書館で子どもが借りてきた本から読んでいったらいいと思いますが、近くの公立図書館を活用するのもおすすめです。 公立図書館の情報はホームページでも詳しく紹介されているので、ぜひ活用してみてください。</p> <p>エッセイ2「母からの贈り物」を最後にみなさんで読みましょう。 私が音読しますので、皆さんはワークシートのエッセイ2をご覧ください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料編にある県立図書館等の子ども読書関連情報について、紹介するとよい。(56ページ参照)</li> <li>○公民館によっては、図書室が常備されていたり、本の貸し出しが行われていたりするところがあることも紹介するとよい。</li> <li>○エッセイ2は実話に基づいていることを伝える。</li> <li>○時間がない時は、各自で黙読し、すぐに「ふりかえり」の記入を行う。</li> </ul>
まとめ ★ (ふりかえり)	5	「ふりかえり」のところに、今日の話し合いをとおして気づいたことや、これから心がけたいことなどを書いてみましょう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時間があれば、グループ内で発表するとよい。</li> </ul>

## ファシリテーター用 メモ欄



# 10 子どものマナーやルールは家庭から



- ねらい**
- 子どもがマナーやルールを守った望ましい行動をしていくには、親としてどのような姿勢で子どもと向き合うべきかを考える。
- 事前準備**
- ワークシートの印刷（参加者分のコピー） ●会場設営（1グループ4～5人程度の机といす）
  - 会場案内（あらかじめ4～5人のグループに分かれて着席）
  - 筆記用具 ●ストップウォッチ（時計）

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
導入 (趣旨説明)	1	今日のテーマは、「子どものマナーやルールは家庭から」です。小学生になり子どもの世界が広がってきていると思いますが、これからの生活で子どもがマナーやルールを守って生活できるようにするために、親としてどうあればよいかについて話し合ってみましょう。	○参加者が話しやすい雰囲気になるように、明るく司会することを心がける。
自己紹介 (アイスブレイク)	8	グループごとに自己紹介をしてください。あなたの名前、子どもの名前(学年、クラスなど)、そしてあなたが子どもの長所と思うことを1つか2つ紹介してください。	○子どものことを話す中で、病気などの話があった場合は、個人情報の扱いについて注意するように伝える。
役割分担	2	これからワークシートに記入しながら、グループごとに話し合いを行っていきます。全体の進行は私がしますので、グループ内の司会をする方を一人決めてください。司会の方には、グループの全員が発表できるように、一人ずつ順番に話をするように進めてもらいたいと思います。話し合ったことをまとめたり、グループを代表して発表することはありません。決まったところは、手を挙げて合図してください。	○司会者は、グループの全員が次々に話していくように、指名をするのが主な役割であることを伝える。
活動1 ★ ●エッセイ	20	それでは、まず、エッセイ「しつけの極意」を読みましょう。いろいろな長所を持っている子どもたちには、これからぐんぐん成長していく時間がたくさんあります。そんな子どもに大人として、親としてどうあればいいのか、このエッセイを読んで考えていきましょう。私が音読しますので、皆さんはワークシートのエッセイをご覧ください。	○参加者に音読してもらってもよい。
●ワーク1 書き込み		それでは、ワーク1を見てください。あなたが考える「よい大人」の条件は何ですか。3つ考えて、書いてください。そして、その理由も書いてみましょう。書く時間は3分間です。	○理由については時間の関係で書けない場合もある。その時は発表の時に話してもらう。
話し合い		それではグループの皆さんに自分が考えたことを1～2分程度にまとめて発表しましょう。全員の発表が終わったら、グループの皆さんで、「よい大人の条件」について話し合ってください。	○時間に余裕がある場合は、グループごとに「よい大人の条件」を作ってもよい。 ○一人だけが話し過ぎないように注意する。

展開	時間(分)	ファシリテーターのことは	展開のポイント
活動2 ●ワーク2	15	次はワーク2です。ここでは、皆さん自身のことについて普段の生活を振り返ってもらって、親として、また地域の大人として、自分が改めたいと思うことは何かを考えてもらいます。	○改めたいことやその理由について話す中で、家庭の状況や病気などの話があった場合は、個人情報の扱いについて注意するように伝える。
書き込み		まず記入欄に、改めたいと思うことを1つか2つ書いてください。時間は2分間です。	
話し合い		それでは、発表しましょう。発表する時間は一人1～2分程度でお願いします。グループの皆さんに自分が改めたいと思っていることとその理由を話してください。全員の発表が終わったら、親として、地域の大人として大切にしなければならないことについて話し合ってください。	
活動3 ★ ●ワーク3	8	次はワーク3です。ここでは、皆さんが今、自分の子どもに身につけさせたいマナーは何かを考えてみましょう。大人としてのあり方について、これまで話し合ったり考えてきたりしてきましたが、最後に、我が子に、身につけさせたいマナーは何かを考えて書いてください。時間は2分間です。	○小学校低学年の今の子どもに必要なマナーとして、早期に身につけさせたいことを考えるように促す。
書き込み		それでは、グループ内で発表してください。	○ここでは考えたことを発表し、お互いに伝えあうだけにとどめる。
発表		○マナーを身につける方策を考える時間は設けていないので、その部分については各家庭、またPTA研修などで考えていくとよいことを伝える。	
まとめ ★ ●資料 (ふりかえり)	6	資料も参考にしながら、今日話し合ったことや考えたことを振り返りましょう。そして、「ふりかえり」のところに、今日の話し合いをおして気づいたことや、これから心がけたいことなどを書いてみましょう。	○資料「お父さんやお母さんから言われること(国際比較)」にはについては、これからの子どものしつけを考える時の参考資料として見てほしいことを伝える。 ○時間があれば、グループ内で発表するとよい。

**ファシリテーター用 メモ欄**